



認定No.	第14号
件名	関東鉄道竜ヶ崎線（かんとうてつどうりゅうがさきせん）
認定年月日	令和3年1月27日
所在地	龍ヶ崎市3903番地1（関東鉄道竜ヶ崎駅）
所有者等	関東鉄道株式会社
解説	<p>龍ヶ崎の中心市街地と日本鉄道土浦線（現・JR常磐線）とを結ぶ“茨城県内最古の私鉄路線”として、明治33（1900）年8月に開業した鉄道である。</p> <p>当初は、龍ヶ崎と相馬町（現・取手市）藤代駅との間を馬車鉄道で結ぶ予定であったが、小貝川への架橋工事の負担が大きかったことや輸送力などを踏まえて計画が見直され、常磐線までの最短距離（＝佐貫まで）を直線的に結ぶルートとし、さらに小型蒸気機関車による軽便鉄道へと業態を変更しての開業となった。</p> <p>現在では旅客のみを輸送しているが、かつては肥料や米、繭、石炭などの貨物も運搬し、龍ヶ崎の産業発展に大きな役割を果たしてきた。</p> <p>また、開業当時は「龍ヶ崎」「門倉」「入地」「南中島」「佐貫」という5駅が存在していたが、昭和32（1957）年に門倉駅と南中島駅が廃駅となり、以降、現行の3駅体制となっている。</p>
	 <p>▲入地駅付近を走る4号機関車（現・市指定文化財 三谷烈氏撮影）</p>  <p>▲市制60周年記念のラッピング車両「まいりゅう号」</p>